

第3回運営会議 議事録行

開催日時:2017年8月12日(土) 15:40～20:20

開催会場:清田区民センター 視聴覚室

出席役員

中田 省吾	藤原 篤志	西野 義人
菅野 久夫	小池 征寛	国井 長助
石川 和男	林 宏明	恒松 雅彦
古川 雅徳		

1. 2018年モータースポーツカレンダー調整について ※別紙(案 0812)参照

- 1-1) ダートトライアル →10 戦を開催予定。
- 1-2) ジムカーナ →6 戦を開催。ラジアル部門は全日本(砂川)に併催の EX ラウンド'を加え 7 戦を開催。
- 1-3) オートテスト →十勝を除くジムカーナ日程と併催。JMRC 北海道シリーズとして開催。(十勝に関しては現状未定、年度途中で追加の競技会の場合はポイント2分の1(規則 7.1.4))
- 1-4) ラリー →全日本選手権の日程により変動あるが7戦の開催予定。
- 1-5) レース →現状は未定

2. 各部会から

2-1)ラリー部会

- ・2018 年のセミナーは(ファミリーラリー / ペースノート編 / ラリーのいろは)3つを開催予定

・ToyotaGazooRacing ラリー 北海道シリーズ開催

- TGR より
 - ・年間の予算補助
 - ・各戦に副賞グッズ等の提供
 - ・上位入賞者 新城ラリーへのエントリー権利提供

ポイント等の計算手法(草案)

独立したクラスとしては設定しないが、TGR を 2 つ(1,500cc 上下)に分け、それぞれについて既存のクラスから、トヨタ車をピックアップしたりザルトにより計算する。

- ・ジュニア RA-1 および RA-2 は、参加台数が少ないため、チャンピオンの RA-1

および RA-2 へ組み入れる

・2018年 JMRC 北海道ラリーシリーズ認定について

→2018年は全7戦として北海道ラリーシリーズの認定をした。

ただし、全日本ラリーのカレンダー確定が9月 15 日以降であるため、

それに伴い北海道ラリーシリーズの予定する日程が変更される可能性がある。

- ・第2回 JMRC 全国ラリー振興委員会報告
今年度のオールスターラリーは JMRC 近畿が担当、来年度は JMRC 関東が担当予定である。なお、詳細は別紙のとおり。
ラリー共済(見舞金)について、全国展開が可能となったので、対人死亡 500 万円
で開始し、各地区全国共済に準じた分担割合とする提案を行うこととした。

- ・第2回 JMRC 全国協議会報告(ラリー関連)
 - ・ラリー共済(見舞金)について議論したのち、各地区の分担割合について
要再議論との見解により差し戻しとなった。

 - ・JMRC オールスターラリー開催時における出張費について
→JMRC 北海道としては、ラリーの旅費交通費について不明な点がある
のでについて内容の再調査を JMRC 全国に対して要望する。
また JMRC オールスターの各振興事業部会長の出張費をどのような
運用ルールで対応してゆくのか確認し、その運用ルールに準じ
来年度、北海道で開催するオールスタージムカーナや再来年度に
開催するオールスターダートに努めたい。

2-2)ジムカーナ部会

- ・第2回 JMRC 全国ジムカーナ振興委員会報告
別紙資料により報告

- ・2018 年度のクラス区分について

クラス名称変更
 - ・PN-1 → HPN-1 クラス
気筒容積を制限しない前輪駆動(FR)のPN車両、AE車両及び後輪駆動(FR)
のPN車両、AE車両及びFIA/JAF公認発行年またはJAF登録年
が2012年1月1日以降のB車両

 - ・PN-2 → HPN-2 クラス
気筒容積及び駆動方式を制限しないHPN1クラス以外のPN車両

 - ・SH-1/SH-2 → 現行のまま。

 - ・ラジアルクラス → 名称をミドルクラス(案)に変更。

 - ・クローズドクラス → クローズドクラスの中にビギナークラスを設けて
オートテスト等からのステップアップ者を受け入れるクラスとしたい

(次ページへつづく)

(前ページより ジムカーナ部会 つづき)

- 当日限りの 500 円互助会について
オートテストの参加料が安価に設定しているため当日限り有効な互助会を再検討してほしい。
→ オートテスト参加者に限定した互助会規則(草案)をジムカーナ部会にて作成。それをもとに運営委員会で検討する。
- オートテストの年間表彰式について
→ 上位入賞者を年間表彰の対象にする。
モータースポーツ振興の一環としてオートテストへの分担金は無し。

2-3)ダートライアル部会

- 2018 年度のクラス区分について
AT クラス → 2WD と 4WD で分けているがインプレッサ HV を考慮し区分設定を見直す予定。

FF1 クラス → PN1 + 製造年度による区分を見直す予定。

レディース(ウィメンズ)クラス → 参加者不在のため設定を削除予定。
- スピード競技とラリー競技における PN クラスの統一にむけ、JMRC 全国にて作業部会がスタートした。
- 2018 年度のダートライアルセミナーについて
→ 4 月 22 日に新千歳モーターランドもしくは ASL スナガワで開催予定。

2-4)その他

- 2018 年度 JAF スピード委員として JMRC 北海道よりジムカーナ部会長 石川さんを推薦。

3. 各支部から

3-1)札幌支部

- 札幌支部会を 10/21 の運営委員会開催まえに開催。決算報告も行う。
→ 札幌支部長分の報償費について、今期は支出しない。

3-2)その他

- 2018 年度～2019 年度期の各支部長選出を最後に、2020 年度は支部長を選任しない予定。
加えて 2020 年以降に支部会に相当する会議を地域で開催した場合は、JMRC 北海道全体の会議費として処理する予定。

4. 運営委員会から

4-1)事務局

- ・カーボンオフセット J-Ver について

→ 今年度は、北海道庁を1口、石狩市を1口として納付する。

- ・セミナー運営費などについて

→ セミナー運営費に限らず JMRC 北海道の運営費増の施策としてスポンサー(シリーズネーミング / サイトバナー / 表彰式・カレンダー)を募る。

→中田さんが企画書案を作成。

→セミナーを1カテゴリで行うよりもモータースポーツフェスとして

丸1日を使い、すべてのカテゴリのセミナーや体験をできる準備を行う。

→各部長を中心に2018年秋開催にむけ準備。

各企業の2018年度予算組に間に合うように準備。

次回運営委員会(10/21)に概要案はまとめたい。

→JMRC 北海道をNPO 法人化にむけて準備

→事務局にておこなう。

5. その他

5-1)各主催のR項について(案)

各主催クラブがオフィシャルに支払うR項が一番の負担になっているのは事実。

競技主催を現行クラブが今後も継続、もしくは新たに主催するクラブから手を挙げて

もらいやすくするため、一律的にR項を減額(将来的には記念品のみ等)していく方向で調整したい。

以上